

市民リポーター

だより

No. 3

生産者と消費者との

ふれあいを求めて



リポーター
佐藤 エツ子さん
(横 岩)



野菜はもちろんのこと、ひまわり市場の
目玉商品は「花」!



開店と同時に多くのお客さんが
訪れます

ひまわり市場は、下川沿地区のJA下川沿支店と公民館との間にあります。半径五百メートル以内には、川口小学校、下川沿中学校、そして下川沿駅があります。ひまわり市場が開店してから四年目、今ではすっかりと地元にも根づいています。市場で働く会員は十一人、木曜日と日曜日に開店し、朝五時

半から十一時半まで営業をしています。

前日の午後から採った新鮮な野菜と花を販売しています。流通機構を通じていませんで、野菜はみずみずしく花は生き生きとしています。そして消費者の皆さんからは、野菜がおいしいといわれています。

それぞれの野菜の特色・持ち味をしっかりと表しているというのです。去年の秋には、市場を利用する西大館地区のかたからひまわり市場の会員に感謝状をいただきました。

農家の女性たちの活動として

長引く不況の中で私たちの生活や営農をめぐる環境はますます厳しさを増しております。このような中で、私たちは所得の向上と地域の活性化、そしてゆとりとふれあい、助け合いのある住みよい地域社会作りを目指して活動しています。農家の女性たちが小さくとも直売所を持つことは、今まで培った技術を生かし、また畑を生かして生産する喜びを味わい、収入をあげることによって生産意欲をかきたててくれます。そして、将来



私たちが楽しくがんばっています。

に夢を持ち、人とのふれあいによって若さを保つなど、いい意味での刺激を受けながら生活をすることができます。このことは、人として幸福なことだと思えます。

身上不二とは

「身上不二」という言葉があります。これはその土地で採れたものを食べると病気が治るといいう意味だそうです。外国のものがあふれている今、地元の野菜で食卓を飾る。それは今の世の中ではぜいたくなことかもしれません。市場の人たちは、これからも体調に気をつけてやっていきたいと話してくれました。